

【応用化学科<一般化学技術コース> 平成16年度(2004年度)入学者用】

区分	必選	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年
一般 共 通 科 目	◎	教養基礎ゼミ	2	前	●			
		文化論	2	後	●			
		社会学	2	前	●			
		国際関係論	2	後	●			
		歴史	2	後	●			
		スポーツ文化論	2	後		●		
		生活健康科学	2	前	●			
		言語文化論 I	2	後	●			
		言語文化論 II	2	前		●		
		経済学	2	後			●	
		日本憲法論	2	後		●		
		思想と宗教	2	後		●		
		経営学	2	前			●	
		心理学	2	後		●		
		哲学	2	前		●		
		小計 (15科目)	30					
			日本事情 I ※1	2	前	●		
			日本事情 II ※1	2	後	●		
			日本経済 I ※1	2	前	●		
			日本経済 II ※1	2	後	●		
			日本語 I ※1	2	前	●		
			日本語 II ※1	2	後	●		
			小計 (6科目)	12				
	外国 語 科 目	◎	基本英語 I	2	前	●		
		◎	基本英語 II	2	後	●		
		◎	発展英語 I	2	前		●	
		◎	発展英語 II	2	後		●	
			小計 (4科目)	8				
数 学 系 科 目		線形代数学および演習 I	2	前	●			
		線形代数学および演習 II	2	後	●			
		微分学および演習	4	前	●			
		積分学および演習	4	後	●			
		微分方程式	2	後		●		
		確率統計学	2	前		●		
	小計 (6科目)	16						
理 学 系 科 目	◎	基礎物理実験	2	前	後	●		
	◎	基礎化学実験	2	前	後	●		
	◎	基礎化学演習	1	前		●		
	◎	化学 I	2	後	●			
	◎	化学 II	2	後	●			
	◎	展開化学演習	1	後		●		
	◎	基礎化学	2	前		●		
	◎	物理学入門	N	前		●		
		基礎物理学	2	前		●		
		生物学	2	前		●		
		物理学 I	2	後	●			
		物理学 II	2	前		●		
		物理学演習 I	1	後	●			
		物理学演習 II	1	前		●		
	小計 (14科目)	22						

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。  
 (注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。  
 (注記3) 必選欄の△印は、自由単位の科目を示す。  
 (注記4) ※1は、留学生の履修科目を示す。  
 (注記5) 単位欄の「N」表示は、認定科目を示す。  
 (注記6) ※2は、早期卒業見込者の履修科目を示す。  
 早期卒業の場合は、4年次の卒業研究及び応用化学調査研究に替え、  
 3年次に応用化学特論A及び応用化学特論Bを修得しなければならない。  
 (注記7) 卒業研究(※3)の履修は、応用化学調査研究(※3)の修得を条件とする。

区分	必選	科目名	単位数	開講期	1年	2年	3年	4年
応 用 化 学 専 門 科 目	◎	コンピュータ実習 I	2	前	●			
	◎	コンピュータ実習 II	2	後	●			
	◎	応用化学基礎実験 I	2	前		●		
	◎	応用化学基礎実験 II	2	後		●		
	◎	応用化学専門実験 I	2	前			●	
	◎	応用化学専門実験 II	2	後			●	
	◎	応用化学ゼミ	2	後			●	
	○	応用化学特論A ※2	2	後			●	
	○	応用化学特論B ※2	4	後			●	
	○	応用化学調査研究※3	2	前				●
	○	卒業研究 ※3	4	後				●
		コンピュータ化学 I	2	前		●		
		コンピュータ化学 II	2	後		●		
		電気工学概論	2	後		●		
		計測工学概論	2	前		●		
		システム工学概論	2	後		●		
		有機化学 I	2	前		●		
		有機化学 II	2	後		●		
		有機化学演習	1	後		●		
		物理化学 I	2	前		●		
		物理化学 II	2	後		●		
		分析化学	2	前		●		
		地球科学	2	前		●		
		無機化学 I	2	前		●		
		無機化学 II	2	後		●		
		生化学 I	2	前		●		
		生化学 II	2	後		●		
		化学工学概論	2	後		●		
		環境計測 I	2	前		●		
		環境計測 II	2	後		●		
		表面科学	2	前			●	
		高分子化学	2	後			●	
		電気化学	2	前			●	
		機器分析	2	前			●	
		環境化学	2	後			●	
		無機材料化学	2	前			●	
		生化学 III	2	前			●	
		品質管理	2	後			●	
		有機材料化学	2	後			●	
		環境関係法規	2	後			●	
		環境分析	2	後			●	
		生物工学	2	後			●	
		触媒化学	2	後			●	
		環境計量 I	2	前			●	
		環境計量 II	2	後			●	
		安全工学	2	前				●
		工業経営	2	前				●
		インターンシップ	2	前				●
	△	応用化学特別演習	2	前				●
	△	情報処理 I	2	前			●	
	△	情報処理 II	2	後			●	
	小計 (51科目)	105						

《平成22年度版学生便覧》

◇応用化学科「一般化学技術コース」における進級・卒業要件は、次のとおりです。

**【応用化学科＜一般化学技術コース＞ 平成16年度(2004年度)入学者用】**

区 分		2年への進級	3年への進級	4年への進級	卒 業				
一般共通科目	◎必修	2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>30単位以上</b> を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>70単位以上</b> を修得していなければなりません。	10 単位	10 単位				
	○選択必修			-	-				
	選 択			16 単位	16 単位				
	小 計			<b>26 単位</b>	<b>26 単位</b>				
共通基礎科目	◎必修			2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>30単位以上</b> を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>70単位以上</b> を修得していなければなりません。	12 単位	12 単位		
	○選択必修					-	-		
	選 択					16 単位	16 単位		
	小 計					<b>28 単位</b>	<b>28 単位</b>		
専 門 科 目	◎必修					2学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>30単位以上</b> を修得していなければなりません。	3学年に進級するためには、一般共通科目・共通基礎科目及び専門科目に関して、自由単位を除き、 <b>70単位以上</b> を修得していなければなりません。	14 単位	14 単位
	○選択必修							-	6 単位
	選 択							38 単位	50 単位
	小 計							<b>52 単位</b>	<b>70 単位</b>
合 計		<b>30 単位</b>	<b>70 単位</b>					<b>106 単位</b>	<b>124 単位</b>

<履修上限について>

- ◇1年間に履修できる単位数の上限は、50単位とする。
- 但し、教職科目、自由単位科目、インターンシップ及び科目に(再)の付く再履修科目は、履修上限に含めない。

<自由単位について>

- ◇各学年の進級及び卒業に必要な単位数のなかには、自由単位を含めることができない。
- 自由単位は、次のとおり、各教育課程に規定した単位数を超えて修得した単位のことをいう。
  - ①一般共通科目において、必修10単位を含め、26単位を超えて修得した単位。
  - ②共通基礎科目において、必修12単位を含め、28単位を超えて修得した単位。
  - ③自由単位科目(△印の科目)及び教職科目にて修得した単位。

<進級及び卒業判定について>

- ◇2年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している1年の学生を対象とする。
- ◇3年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している2年の学生を対象とする。
- ◇4年への進級は、休学期間を除き、1年以上在籍している3年の学生を対象とする。
- ◇卒業は、休学期間を除いて4年以上(8年以内)在籍し、卒業研究を修了している4年の学生を対象とする。
- 卒業には、学費を全納していなければならない。
- ◇卒業までには必修科目「物理学入門」を修得し、認定(N)を受けておかなければなりません。

<早期卒業について>

- ◇早期卒業については、早期卒業の認定基準を満たしていなければならない。

<留年生の復級について>

- ◇留年した学生が留め置かれた学年で、自由単位を除き、所定の単位を修得した場合は、教授会の議をへて該当学年への進級を認める。